

7月に入り本格的な大雨のシーズンを迎えました。この機会に、いざ避難する時のタイミングや持ち出し品、情報収集手段について改めて確認しておきましょう。

現在、塩見川水系の特定都市河川指定に向けた取り組みを進めていますが、江川流域の特定都市河川指定に向けて、7月1日に第2流域水害対策計画検討会を開催しました。今回のTTK通信では、この検討会の様子をお知らせします。今後とも鳥取県の河川行政について、ご理解とご協力をお願いいたします。

今までの取り組みや過去のTTK通信は、こちらからご確認ください ⇒⇒⇒



1 第2回江川流域水害対策検討会について

日時：令和8年7月1日(水) 午前9時30分～午前11時

参加者：地元(福部町区長会、山湯山地区)代表者

鳥取市 農林水産部 農政企画課長

鳥取市 都市整備部 都市企画課長、河川公園課長

鳥取市 福部町総合支所長

鳥取県 農林水産部 農地・水保全課課長補佐

鳥取県 県土整備部 河川課参事、鳥取県土整備事務所副所長

※浜湯山地区、海士地区の代表者には、個別に6月22日に説明。



検討会の風景

<議事概要>

以下の内容について鳥取県から説明しました。

○浸水の発生を防ぐべき目標となる降雨の検討

<計画目標>

令和5年7月豪雨を目標降雨とし、床上浸水の概ねの解消を目指す。

○江川流域の河川整備、遊水地の検討

・鳥取県、鳥取市が行う河川整備(案)について(内容は裏面参照)

・整備後の氾濫解析結果について

○今後のスケジュール

・江川流域特定都市河川の指定(令和9年度目標)に向けて、引き続き検討を進める。



流域治水キャラクター
ためぞうくん はなみちゃん

<主な質疑応答>

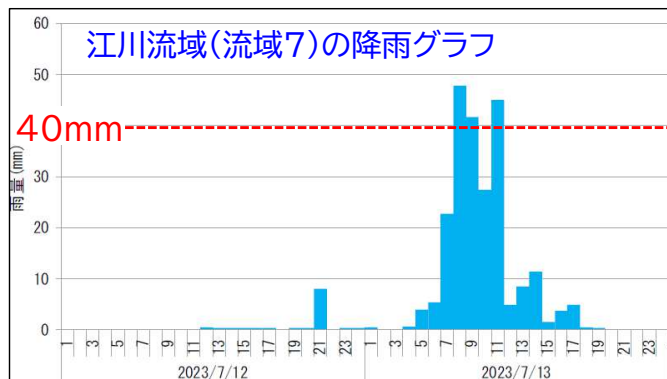
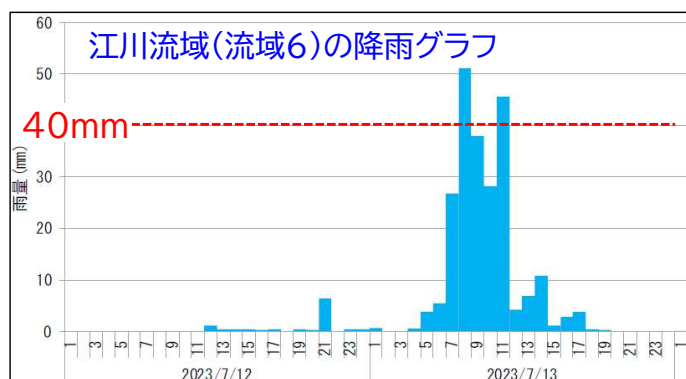
委員意見	事務局回答
遊水池の深さが前回(2.89m)に比べて浅い理由は？浅い方が安全。	今回示す深さ1.23mだと江川への自然排水が可能。これ以上の深さでは排水ポンプが必要。
水路再編は、用水取水の状況も踏まえ検討して欲しい。	今年度実施する設計で検討する。
整備しても解消されない床上浸水家屋への対応は？	他県で事例のある止水板等の設置について検討したい。
盛土等の開発行為の制限も必要ではないか？	特定都市河川指定後は、貯留機能保全区域の指定により盛土等の開発行為も制限できる。ただし、地権者の同意等が必要であり、まずは特定都市河川の指定を進めたい。
浸水戸数が少しでも減るような河川整備を検討して欲しい。	費用対効果を考えながら検討していく。
河川整備後に、どれぐらいで浸水が引くのか計算しているか？	今後検証してみたい。
海士交差点辺りの河川整備を行うときに、JA加工場に影響が出るのか？	どこまで影響するのは現時点では不明。将来の詳細設計で確定する。

2 江川流域の浸水の発生を防ぐべき目標とする降雨(案)



江川流域水害対策計画は、近年、最も甚大な浸水被害をもたらした令和5年7月豪雨を目標降雨とし、河川整備等による床上浸水の概ね解消を計画目標として検討を進めます。

令和5年7月に江川流域(流域6と流域7)で観測したレーダー解析雨量(下の2つのグラフ)を目標降雨とします。

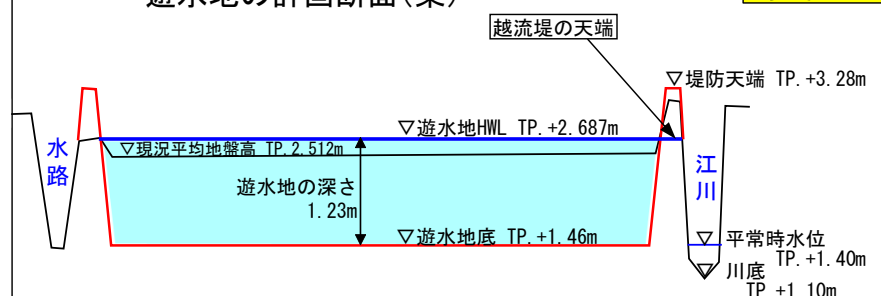


3 鳥取県、鳥取市が行う江川河川整備(案)



遊水地の計画断面(案)

参考図1



江川下流の河川改修断面(案)

参考図2

